



< ラジオ放送の全国ネットワーク >

放送のネットワークというと番組編成からみたネットワークと番組伝送の技術的手法からみたネットワークがあります。

番組編成面からみたネットワークは、更に、NHK 第1放送、第2放送ならびに民間放送等の番組系統と広域放送と県域放送等の地域別番組の編成状況等があります。

番組伝送のネットワークは、キー局（主に東京の局）から全国の放送局へ番組を伝送するための回線構成状況を指します。

まず、番組面からネットワークをみてみましょう。

NHK 第1放送は、関東圏、中京圏、近畿圏では、広域(ブロック別)放送を行なっています。その他の地域では県域放送(北海道は道)を行い、番組は、それぞれ異なる番組の編成が可能となっています。

NHK 第2放送は、全国いずれの放送局も、常に、同じ番組の放送を行うこととしています。このため、第1放送のみの中継局が多く見られます。

一般放送事業者の放送(以下「民放」といいます。)の場合は、少し複雑で、原則的には道府県別に設置された県域放送局と関東圏、中京圏、近畿圏の複数の都府県を放送の対象とする広域放送局が設置されています。ただし、県域放送に関しては、群馬県のように民放の無い県があったり、島根県と鳥取県等のように、隣接する複数の県を同一対象地域とする放送局もあります。

それらの状況を 表1「番組面からみた放送系統と放送対象地域」に示します。

民放のラジオ放送局の系列は、東京 TBS ラジオをキー局とする JRN(ジャパンラジオネットワーク)系列と文化放送と日本放送をキー局とする

NRN（全日本ラジオネットワーク）系列があります。全国の中波放送局をネットワークで結び、ラジオメディアとしての付加価値を高めるとともにニュースの現場中継、ナイター中継などを行ないます。

表 1 番組面からみた放送系統と放送対象地域

NHK第1		NHK第2	民放		
[原則：県別放送と広域放送／異種番組]		全国 同一番組	[原則：県別放送と広域放送／異種番組]		
関東圏	広域放送 ----- 1都6県 東京・神奈川・埼玉・ 千葉・茨城・栃木・ 群馬		関東圏	広域放送 ----- 1都6県 東京・神奈川・埼玉・ 千葉・茨城・栃木・ 群馬	県域局 ----- ラジオ日本 ----- 茨城放送 ----- 栃木放送
中京圏	広域放送 ----- 3県 愛知・岐阜・三重		中京圏	広域放送 ----- 3県 愛知・岐阜・三重	県域局 ----- 岐阜放送 ----- 三重放送
近畿圏	広域放送 ----- 2府4県 大阪・京都・兵庫・ 和歌山・奈良・滋賀		近畿圏	広域放送 ----- 2府4県 大阪・京都・兵庫・ 和歌山・奈良・滋賀	県域局 ----- ラジオ関西 ----- 京都放送 ----- 和歌山放送
上記 以外	道県別 県域放送		上記 以外	道県別 県域放送 (同一対象地域)	京都/滋賀・ 鳥取/島根・長崎/佐賀

JRN系列は、ほとんどがラジオテレビ兼営局、及びJRNとのクロスネット局により構成され、全国の広域放送局4局（事業者）と県域放送局29局（事業者）が加盟しています。また、NRN系列は、広域放送局6局（事業者）と県域放送局34局（事業者）で構成しており、JNR系列とクロスネット局が多くみられます。

番組伝送のネットワークに関しては、全般的にはキー局から全国各地の道府県所在の放送局やそれに準ずる放送局へNTTのデジタル回線や諸通信会社の光ファイバーの回線が使われています。更に、その下位の中継局

へは、NTTの回線や自営（放送事業者が自ら設置した施設）VHF回線、UHF回線、SHF回線等が使われています。上記の回線のほか、スタジオ（演奏所）と放送所を結ぶ回線として、STL回線があります。多くは、自営のSHF回線やUHF回線を使用しますが、NTTの回線を使用している場合もあります。

参考として図1にある地方の「道府県所在の県域放送局から各中継局への回線例」を示します。

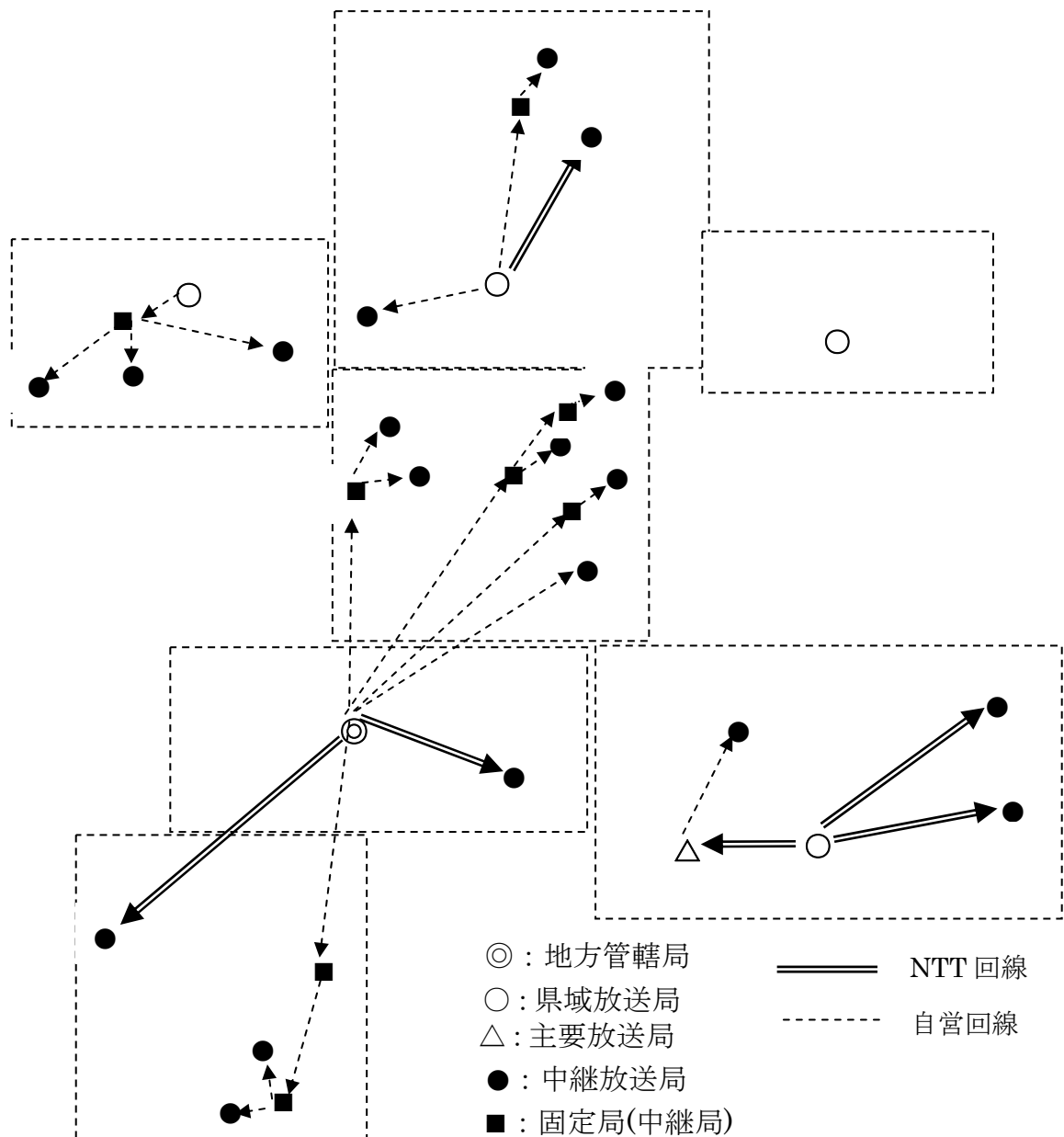


図1 道府県所在の県域放送局から各中継局への回線例